

教育委員会定例会（平成28年9月）会議録

1 日 時	平成28年9月1日（火） 15:00～16:23
2 場 所	生涯学習センター研修室（市民文化センター本館2階）
3 出 席 者	<p>教 育 長 関 福生</p> <p>委 員 三木 由紀子 伊藤 嘉秀 宮内 文久 長野 美和子</p> <p>事務局長 武方 弘行</p> <p>総括次長 榎木 奨悟</p> <p>次 長 高橋 良光 曾我 幸一 横井 邦明 三沢 清人</p> <p>課 長 高橋 正弥 曾我部 みさ 桑原 一郎 菅 春二</p>
4 教育長及び 教育委員会事業報告	<p>8月事業報告及び9月事業予定について</p> <p>その他</p>
5 記録者氏名	社会教育課 岡部 文仁
6 会議の概要	<p><教育長及び教育委員会事業一般報告></p> <p><報告></p> <p>報告第5号 専決処分の報告について（平成28年度補正予算 [第3号]の議案送付について）</p> <p><議案></p> <p>議案第31号 公民館運営審議会委員の委嘱について</p> <p>議案第32号 新居浜市スポーツ推進審議会委員の委嘱に ついて</p> <p><いじめ、不登校等生徒指導関係></p> <p><その他></p> <p>（1）市長専決処分の報告について</p> <p style="padding-left: 20px;">・放棄した債権の報告について</p> <p>（2）平成27年度決算について</p> <p>（3）平成28年度教育委員会取組方針について</p> <p>（4）Q-U調査結果報告</p>

<p>関教育長</p>	<p>それでは定刻がまいりましたので、ただ今から平成28年第9回新居浜市教育委員会定例会を開催いたします。</p> <p>本日の会議録署名委員につきましては、三木委員さん、宮内委員さんをお願いいたします。会期の決定は本日限りといたします。</p> <p>平成28年第8回定例会会議録承認は、長野委員さん、三木委員さんにご署名をいただいております。教育長及び教育委員会事業報告を行います。各課長から一般報告をお願いいたします。</p>
<p>三沢次長兼社会教育課長</p>	<p>社会教育課の8月及び9月の主な行事についてご報告いたします。資料の2ページをご覧ください。</p> <p>8月11日 社会教育主事演習（～13日）</p> <p>31日 公民館職員研修会（ウイメンズプラザ）</p> <p>9月4日 東予地区愛護班活動研究集会（ウイメンズプラザ）</p> <p>8日 全国公民館研究集会・中国四国地区公民館研究集会（～9日）（山口県）</p>
<p>高橋学校教育課長</p>	<p>学校教育課の8月及び9月の主な行事についてご報告いたします。</p> <p>8月10日 全国中学校体育大会壮行式（ウイメンズプラザ） ※大会結果は別紙掲載</p> <p>12日 第3回あかがね算数・数学コンテスト （市民文化センター） 参加者：336名（前年度より65名増加）</p> <p>17日 中学生アメリカ訪問団第3回事前研修会 （市民文化センター）</p> <p>23日 中学生アメリカ訪問団第4回事前研修会 （市民文化センター）</p> <p>25日 第3回小中学校教頭研修会（市民文化センター）</p> <p>25日 角野小学校が全国NHK全国学校音楽コンクール四国ブロックコンクールにて金賞受賞（ひめぎんホール）10月の全国大会（NHKホール）に出場決定</p> <p>27日 小中学校子ども会議（総合科学博物館） 講師：日本IBM相談役 北城恪太郎氏</p> <p>28日 中学校スポーツトップアスリート事業 （河川敷テニスコート） 講師：ヨネックス株式会社アジア選手権大会 日本代表 森田奈緒・神谷絵梨奈ペア</p>

	<p>29日 通学路安全対策協議会（市民文化センター）</p> <p>9月 1日 公立幼稚園、小・中学校第2学期始業式</p> <p>9日 第2回E S D推進事業協議会</p> <p>11日 別子小中学校運動会</p> <p>18日 中学校運動会（別子中、ひびき分校を除く）</p> <p>23日 中学生英語スピーチコンテスト（市民文化センター）</p> <p>24日 中学生アメリカ訪問団第5回事前研修会 （市民文化センター）</p> <p>25日 小学校運動会（若宮小、浮島小、別子小を除く）</p>
<p>曾我部スポーツ文化課長</p>	<p>スポーツ文化課の8月及び9月の主な行事についてご報告いたします。</p> <p>8月23日 福祉プール（東雲市民プール）</p> <p>23日 マンダリンパイレーツ公式戦</p> <p>31日 東雲市民プール営業終了 今年度入場者数：43, 124名</p> <p>9月 3日 えひめ国体1年前イベント（山根公園）</p> <p>14日 岩手国体出場者壮行会</p> <p>19日 トップアスリート事業（サッカー：F C今治）</p> <p>*愛媛国体リハーサル大会</p> <p>10日・11日 高松宮賜杯第60回全日本軟式野球大会</p> <p>17日～19日 2016年全日本セーリング選手権大会</p>
<p>曾我次長兼発達支援課長</p>	<p>発達支援課の8月及び9月の主な行事についてご報告いたします。</p> <p>8月25日 第3回教育支援委員会（こども発達支援センター）</p> <p>29日 前期発達支援スキルアップ連続講座（～30日） （工業高等専門学校） 愛媛大学附属特別支援学校校長 吉松 靖文</p>
<p>桑原学校給食課長</p>	<p>学校給食課の8月及び9月の主な行事についてご報告いたします。</p> <p>8月 5日 平成28年度学校給食調理従事職員研修会 （西条市中央公民館）</p> <p>10日 第1回学校給食アレルギー対応検討委員会 （学校給食センター）</p>

<p>横井次長兼図書館長</p>	<p>18日 学校栄養教職員新規献立調理実習試食会 (泉川公民館) 8月度学校栄養教職員会(学校給食センター)</p> <p>9月 5日 学校給食センター2学期給食開始</p> <p>図書館の8月及び9月の主な行事についてご報告いたします。</p> <p>8月 4日 乳幼児向けお話会 『夏休み子ども図書館探検隊と6面パズル2×2を作ろう!』講師:新居浜工業高等専門学校教諭 図書館見学とペーパークラフトでルービックキューブ作成(定員小学生親子20組)</p> <p>5日 『夏の夜のちょっとこわいおはなし会と…夜の図書館たんけん』 多目的ホールでのおはなし会(子ども～大人)と閉館後の図書館で夜の図書館たんけん (年長～小学3年までの先着50名)</p> <p>10日 幼児向けお話会</p> <p>12日 第2回『子ども一日子ども図書館員一読書感想文にちょうせん!』講師:藤縄英治先生 感想文の書き方の説明(定員小学生親子20組)</p> <p>20日 小学生向けお話会</p> <p>24日 幼児向けお話会</p> <p>27日 子ども読書通帳マラソン表彰式 (5/1～8/20まで実施) エントリー数:140名、上位3名を表彰</p> <p>○ロビー展示</p> <p>8月 6日～ 7日 『原爆被害者の会・パネル展』 (原爆被害者の会) 3日～30日 『原爆パネル展』</p> <p>○多目的ホール展示</p> <p>8月20日～30日 『ふる里新居浜の誇り発見物語展』 (新居浜まちおこし委員会)</p> <p>○テーマ展示</p> <p>8月 一般展示 『戦争と平和ー原爆・原発を考えるー』 児童展示 『夏休みにちょうせん!』</p> <p>○ケース展示及び企画展示</p>
------------------	--

<p>菅総合文化施設管理課長</p>	<p style="text-align: center;">『昆虫・化石標本の世界』</p> <p>9月 1日 乳幼児向けお話し会 3日 第3回「別子銅山に関する本の解説講座」 『別子銅山を読む』『住友の歴史から』 講師：坪井利一郎</p> <p>14日 幼児向けお話し会 17日 小学生向けお話し会 21日 幼児向けお話し会</p> <p>○ロビー展示</p> <p>9月・10月 『昔ながらの伝統あそびーお手玉ー』（図書館） （資料提供：日本のお手玉の会） 10月1日・2日 「全国お手玉遊びの祭典」の開催 に合わせて、お手玉の魅力や活動を紹介</p> <p>2～15日 『新居浜の救急医療体制について』（保健センター） 20～30日 『がん征圧月間・がん予防検診啓発について』 （保健センター）</p> <p>○テーマ展示</p> <p>9月 児童展示『おいしいあき！みーつけた！』</p> <p>○ケース展示</p> <p>『昔ながらの伝統あそびーお手玉ー』 （資料提供：日本のお手玉の会） 「日本のお手玉の会」の日本・海外のお手玉を紹介</p> <p>総合文化施設管理課の8月及び9月の主な行事についてご報告 いたします。</p> <p>8月 6日・7日 あかがねロックフェス（ランクヘッド） 13日・14日 劇団笑夢公演「にいのものがたり」 20日・21日 虚構の劇団公演「天使は瞳を閉じて」 （鴻上尚史）</p> <p>21日 片岡鶴太郎展還暦紅閉幕 通算来場者数：16,277名</p> <p>27日 笑顔甲子園（28日市民文化センター）</p> <p>9月 9日 「大ペルーアンデス文明展」開会式・レセプション 10日 「大ペルーアンデス文明展」（～10月18日） 在日ペルー大使と高校生との交流会（東平ほか） 劇団ドトオ公演「よいやさのさっ！」 （作・演出 福田卓郎氏）～11日（4回公演）</p>

<p>関教育長</p>	<p>16日・22日「大ペルーアンデス文明展」 ギャラリートーク（学芸員）</p> <p>教育長の8月及び9月の主な行事についてご報告いたします。</p> <p>8月10日 中学校全国総合体育大会壮行会 36名が全国大会出場。しっかりした口調で自らの決意表明する場面は非常に感動しました。</p> <p>19日 こだまの会（自主研究会） 講師：日本大学佐藤晴雄教授 コミュニティースクールの在り方についての学習会でした。終了後も非常に熱心に講師の先生に問い合わせる校長先生の姿を見てとても頼もしく思いました。</p> <p>20日 ふる里新居浜発見展（図書館ホール） この取組は十数年来続いており、新居浜の郷土の誇りを紹介。歴史文化の掘り起し、先人の功績を顕彰するなど非常に成果をあげている事業だと思います。</p> <p>21日 東予短歌会（ウイメンズプラザ）</p> <p>24日 別子中学校情報交換会 保護者と子どもが集まり情報交換を行いました。1学期が終わり、子ども達はたくましく成長し、自分達の仲間意識、一人ひとりの学習意欲、集団との協調性など非常に成長したことを感じました。今後どのような形で寄宿舎であったり学校生活をまわしていくか、意見をいただきました。また、これから先の方向性を皆さんと共に考えていきたいと思えます。</p> <p>27日 小中学生こども会議 日本IBM相談役北城格太郎氏を講師に招いて、子ども向けと教職員向けの2部構成で講演を行いました。2部共にとてもすばらしい話でしたが、特に子ども向けの講演の中で「働く仕事について」の話があり、その後の質疑応答では子ども達からの質問が止まらなかったと聞いています。日本IBMという会社をマネジメントしてきた経営者としての発想で、学校経営・運営・マネジメントなどについても示唆に富んだ話をさせていただきました。これからの業務改善等に反映していきたいと思っています。</p>
-------------	---

榎木総括次長	<p>31日 公民館職員研修会</p> <p>公民館の館長・主事・主事補に対して、社会教育の基本的な考え方やこれからの方向性について話をしました。やはり、人が何事も基本であることを改めて感じた会でした。公民館の必要性が全国的にも変わろうとしている時期かと思います。これまで生涯学習拠点であったものを、地域づくり地方創生の拠点施設とする動きも出てきています。新居浜市においても、戦後まもなくできた公民館の草創期の理念にもう一度立ち戻り、自分たちの地域を起こしていかなければいけません。物質的には豊かになりましたが精神的にはさまざまな面で綻びも見えている時代ですので、もう一度良い地域を作っていく拠点に公民館がなったらいいねと投げかけをしました。今後、さらに議論を深めてこれからの公民館の在り方を考えたいと思います。</p> <p>9月 4日 東予地区愛護班研究集会</p> <p>愛護班活動は新居浜市では休止状態になっているところもありますが、子どもと地域との関係性は今後ますます重要になっていくと思います。このような会の中で議論し、さらに新しい活動に取り組んでいきたいと思っています。</p> <p>以上で一般報告を終わります。</p> <p>ただいまの教育長及び教育委員会事業報告で、何かご質問やご意見等はございませんか。</p> <p>それでは次に報告に移ります。報告第5号「平成28年度補正予算（第3号）の議案送付について」事務局から説明をお願いいたします。</p> <p>報告第5号専決処分いたしました平成28年度新居浜市一般会計補正予算（第3号）のうち、教育関係予算についてご説明を申し上げます。資料の平成28年度補正予算書及び予算説明書の3ページをお開きください。</p> <p>第10款 教育費では、今回の補正として合計961万6千円の増額となりまして、補正後の額は教育費総額で、46億7216万1</p>
--------	--

	<p>千円にしようとするものでございます。</p> <p>続いて、内訳について目の行政目的に添って説明申し上げます。21ページをお開きください。右端の欄が目の行政目的となっております。</p> <p>「情報教育推進校調査研究事業費」につきましては、文部科学省所管の情報通信技術を活用した教育振興事業「情報教育推進校」調査研究のための委託事業として、新居浜市教育委員会が委託を受け、金子小学校を研究推進校として教職員のICTに関する理解やスキルアップ、意識の向上等を図り、汎用の高い教科横断的な情報活用能力育成の視点を踏まえた年間指導計画の作成などの調査研究を行うものでございます。経費につきましては、講師謝礼、旅費、電算機使用料などで2,498千円となっております。</p> <p>同じく「不登校児童生徒支援モデル事業費」につきましては、文部科学省所管のフリースクール等で学ぶ不登校児童生徒への支援モデル構築のための委託事業として、新居浜市教育委員会が委託を受けて実施するものでございます。この事業は、総合的な不登校児童生徒対策の体制構築に向けて、学校と連携して、フリースクールなど、多様な教育を受ける機会の提供を支援するとともに、一人一人の状況に応じた学習相談・学習指導など、児童生徒の社会的自立に向けた総合的な教育支援体制を構築するための取組を実施するものでございます。経費につきましては、講師謝礼、旅費、業務委託料などで7,118千円となっております。</p> <p>以上で、平成28年度一般会計補正予算第3号に伴う専決処分についての報告を終わります。</p> <p>ただ今の説明で、何かご質問やご意見等はございませんか。</p> <p>次に議案審議に移ります。本日の議案は第31号から第32号までの2議案でございますが、第31号と第32号につきましては人事案件でございますので、新居浜市教育委員会会議規則第15条の規定により、この会の最後に非公開で審議させていただきたいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。</p>
<p>関教育長</p>	<p>はい。</p>
<p>委員一同</p>	<p>はい。</p>
<p>関教育長</p>	<p>ご異議がないようですので、最後に非公開で審議させていただき</p>

高橋次長	<p>ます。</p> <p>それでは、いじめ、不登校等生徒指導関係に移ります。事務局から説明をお願いいたします。</p> <p>お手元の生徒指導関係資料をご覧ください。</p> <p><資料に基づき説明></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 不審者情報 2 交通事故について 3 楽しい学校づくりニュース第4号
関教育長	<p>ありがとうございました。ただ今の説明について、何かご質問やご意見等はございませんか。</p> <p>それでは、その他に移ります。</p> <p>市長専決処分の報告について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
高橋学校教育課長	<p>「専決処分の報告」につきましては、「放棄した債権の報告」でございます。</p> <p>放棄した債権につきましては、新居浜市入学準備金貸付基金条例に基づく貸付により発生した債権でございます。学校教育課において債権回収に努めましたが、被災や疾病等による生活困窮のため納付に至らないまま、消滅時効期間が経過しており、これ以上請求しても時効の援用をされる見込みがあることから、新居浜市債権管理委員会での審議を経て、市長の承認を受けたため、「新居浜市債権管理条例」第19条第1項の規定に基づき、平成28年8月19日、当該債権の放棄をいたしましたもので、同条第2項の規定により、現在開会中の市議会に報告したものでございます。</p> <p>放棄した債権の債務者数は、2人で、放棄した債権の金額は、7万円でございます。</p> <p>以上で、説明を終わります。</p>
関教育長	<p>ただ今の説明で、ご質問やご意見等はございませんか。</p> <p>次に平成27年度決算について、事務局から説明をお願いいたします。</p>

榎木総括次長

平成27年度の教育費の決算についてご説明をいたします。
お手元に平成27年度決算と主要な施策の成果等に関する説明書
と年度別教育費歳出決算の表をお配りしております。

「年度別教育費歳出決算」の表でご説明いたしますので、表をご
覧ください。

右から3列目までが平成27年度となっております。

まず、27年度の決算額といたしましては、教育費合計40億1
886万円となっております。平成26年度からは額で1254万円の
減、伸び率では前年比0.3%の減となっております。

また、予算額55億9732万3千円に対して、執行率は71.
8%となっております。この主な要因としましては、小学校費の学
校建設費、中学校費の学校建設費等の執行率が低くなっておりま
す。主な理由といたしましては、平成27年度に予定しておりました
工事等（泉川小学校南棟の大規模改修工事、小中学校体育館の照
明落下対策や中学校武道場の屋根瓦落下対策にかかる小中学校非
構造部材の耐震対策工事など）につきまして、進捗が遅れたため、
平成28年度に繰り越しをしたことなどによります。

また、平成26年度の一般会計の総額は、480億7167万円
となっております。教育費が総額に占める割合は8.4%となっており
ます。

裏面をお開きください。

次に、民生費についてでございます。

放課後児童クラブ、行目では放課後児童対策費につきましては、9
735万1千円の決算額となっております。

次に、総務費についてでございます。

総合文化施設建設推進費及び総合文化施設建設事業につきまして
は、14億7652万0千円の決算額となっております。

次に、介護保険事業特別会計についてでございます。

高齢者生きがい創造学園講座事業費につきましては、818万7千
円の決算額となっております。

次に、災害復旧費についてでございますが、27年度は該当があ
りませんでした。

次のページに年度別の教育費の費目別決算をグラフ化したもの
を示しております。また、事業ごとの詳細につきましては、別冊の
「平成27年度決算と主要な施策の成果等に関する説明書」の、教

<p>関教育長</p>	<p>育費については137ページ以降、民生費の放課後児童対策費については49ページ、総務費の総合文化施設については20、21ページ、介護保険事業特別会計の高齢者生きがい創造学園講座事業費については215ページに記載されておりますのでご覧いただきたいと思います。</p> <p>以上が平成27年度教育委員会関係の決算状況となっております。</p> <p>ただ今の説明について、何かご質問やご意見等はございませんか。</p> <p>次に、平成28年度教育委員会取組方針について、事務局から説明をお願いいたします。</p> <p>先月、各担当の管理職へヒアリングをさせていただきました。従来は1学期の取組を説明することを主としていましたが、今回は来年度に向けてこれを踏まえてどういった事業に取り組もうとしているかに重点をおいて協議させていただきました。事務局長から説明をお願いします。</p>
<p>武方事務局長</p>	<p>平成28年度教育委員会取組方針について、説明いたします。</p> <p>3月の定例会でご説明をさせていただきましたが、7月末時点での取組状況について教育長中心に各課へヒアリングを実施いたしました。その結果を取りまとめて一覧にしておりますのでご覧いただき、内容についてご質問やご意見等がございましたら、9月9日までに教育委員会事務局までご連絡いただきますようお願いいたします。その後、教育委員会のホームページにも掲載し市民の皆様にも公表したいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。以上です。</p>
<p>関教育長</p>	<p>それぞれの事業ごとに記載されておりますので、何かありましたらご連絡いただければと思います。</p> <p>次に、Q-U調査結果報告について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>高橋次長</p>	<p>学校教育課から説明いたします。</p>

お手元の新居浜市Q-U検査結果の資料をご覧ください。

まず、Q-Uについてですが、新居浜市の学力推進委員会の中に3部会ございまして、そのうちの一つの学習環境部会の取組となっています。子どもがより良い学級集団の中で学べば学力が向上するというのでその学級のより良い環境を科学的に分析するものがQ-Uという調査です。年に2回実施を予定しており、今回は5～6月にかけて実施した1回目の結果となります。来年1月に2回目を実施する予定です。

このQ-Uというのは、別紙資料7「Q-Uを実施する上で」という箇所にわかりやすく掲載されています。

4群に分類すると、「満足しているグループ」、「承認をされていないグループ」、「侵害されているグループ」、「不満足グループ」というように右上、右下、左上、左下の各グループに調査結果を分類することができ、それぞれどのような対応をしていけば、右上の「満足グループ」に分類することが出来るのかということイメージして、表をご覧くださいと思います。

1ページ目には、小学校の結果のまとめがあります。

右のレーダーチャートは、「学級生活意欲」という尺度が測られています。グラフの中の黄色が新居浜平均、青色が全国平均となっていますが、新居浜平均のほうが良いという結果がわかります。

左の棒グラフの中の「学級生活満足群」ですが、新居浜平均が52%に対して全国平均が40%と、大幅に新居浜の満足度が高いという結果になっています。上の表は1～6年生までそれぞれの数値が示されていますが、どの学年も半分以上が満足群に入っています。その他の項目についても全て新居浜の方が良い結果となっています。

2ページでは、質問をいくつか抜粋していますが、「やる気のあるクラスにするためのアンケート」になっています。

質問6「勉強ができるようになろうと頑張っていますか（低学年）」「良い成績を取ったり勉強ができるように努力している（高学年）」という設問に対して、「とてもそう思う」が新居浜平均58.2%、全国平均51.1%となっています。

質問8「仲良く協力してくれていますか（低学年）」「協力しあっているとと思う（高学年）」という設問に対して、「とてもそう思う」は新居浜平均50.1%、全国平均36.6%となっています。

質問9「いろいろなことをするのは楽しいですか（低学年）」「ま

まって取り組んでいる（高学年）」という設問に対して、「とてもそう思う」は、新居浜平均57.9%、全国平均52.5%となっており、意欲を大切にはぐくんでいることがわかります。

3ページ目は、「居心地の良いクラスにするためのアンケート」になっています。

質問7「嫌なことを言われることがありますか（低学年）」「からかわれたりしてつらい（高学年）」という設問に対して、「全くそう思わない」は、新居浜平均46.9%、全国平均26.4%ですので、子どもたち同士で気を付けているということがわかります。ただ「とてもそう思う」は、新居浜平均9.4%ということですので、クラスの中にいる嫌な思いをしている子に対しては細やかな支援が必要だと考えています。しかし、1年生であれば15.4%、6年生では4.5%と学年が上がるにつれて、だんだん減ってきており、適切な社会的スキルを身につけてきていることをうかがい知ることができます。

質問8「乱暴なことをされることがありますか（低学年）」「暴力をふるわれることがある（高学年）」という設問に対して、「全くそう思わない」は、新居浜平均63.9%、全国平均42.8%となっています。

質問9「学校に行きたくないことがありますか（低学年）」「クラスにいたくない（高学年）」という設問に対して、「全くそう思わない」は新居浜平均61.8%、全国平均49.0%となっており、新居浜の数値は非常に良く、良い学級作りがなされていると捉えることができます。

5ページからは、中学校の結果のまとめ表となっています。学級満足度ですが、新居浜平均63%に対して全国平均37%と、新居浜の場合は3人に2人が良いと回答しており、中学校でも非常に良い学級づくりが出来ていることがわかります。

右側のレーダーチャートですが、黄色枠（新居浜）の中に全て青色枠（全国平均）が入っているということで、どの項目をとっても新居浜は良い数値であることがわかります。

6ページは、「やる気のあるクラスをつくるためのアンケート」結果になっています。

質問7「授業の内容は理解できる」という設問に対して、「とてもそう思う」「少しそう思う」合わせて新居浜平均77.1%、全国平均61.8%となっています。

	<p>質問9「学校内に悩みを相談できる先生がいる」という設問に対して、「とてもそう思う」「少しそう思う」合わせて新居浜平均47.4%となり、全国平均を大きく上回っています。しかし、「全くそう思わない」は12.8%と、8人に1人います。そういった子どもに対しては、教育相談等の細かい対応が必要かと思えます。</p> <p>7ページからは、「居心地の良いクラスにするためのアンケート」結果になっています。</p> <p>こちらも全国平均より非常に高い結果となっています。</p> <p>不登校に直結する項目としては、質問19「学校に行きたくないときがある」という設問に対して、「とてもそう思う」が新居浜平均8.8%、全国平均15.4%となっています。小学生より中学生の方が、そういう気持ちが現実的なものになる可能性がありますので、先生方でしっかりと対応していく必要があります。</p> <p>9ページからは、小学校1年生から中学校3年生までの設問に対しての細かい分析結果が続いています。</p> <p>その次は、学校別の分析結果を掲載しています。赤色は好ましい項目、緑色があまり好ましくない項目となっています。どの学校も小学生では1年生から6年生まで学年が上がるにつれて、緑色の項目が減って赤色の項目が増えており、新居浜の特徴となっています。</p> <p>この資料については、またお時間のあるときに細かくご覧いただければと思います。別紙資料「Q-Uの見方」を使っていただくとさらに有効な分析ができるかと思えます。</p>
<p>関教育長</p>	<p>ただ今の説明について、何かご質問やご意見等はございませんか。</p>
<p>宮内委員</p>	<p>学校別の結果について、この学校はうまくいっている、この学校は調子が悪いなど、大規模校・小規模校で格差はありましたか。</p>
<p>高橋次長</p>	<p>大規模校・小規模校ということもあるのですが、学校によって特色が違い、全ての学校で結果分析をした上でこれを2学期以降に子どもへの対応にどう生かしていくかという職員研修をしております。学校名を挙げると不都合があるのですが、ご覧いただいで一目で緑色が多い学校、赤色が多い学校ということがありますが、それが大規模校だからか小規模校だからという理由では一律にはいえないかと思えますし、同じくらいの規模でも随分結果が違っ</p>

<p>関教育長</p>	<p>ているものもあります。ただ小規模校はやはり先生とのふれあいが 多い分、赤色の割合が少し多い印象が全般的にあります。</p>
<p>長野委員</p>	<p>その他に、何かご質問やご意見等はございませんでしょうか。</p> <p>Q-U調査を新居浜市で力を入れて実施しているということは、 新居浜市が非常に子ども達を大切にしているという一つの表れで すので、これからも継続してもらえたらと思います。ただ、学校別 の分析結果について数値を色分けした時に、学校現場としては緑色 が多いとやはり気になります。結果の数値が色にそのまま出ること は、非常に健全な姿ではないかと思います。その上でどのように対 応するかが本来の意味であると思います。この結果については、ま た各学校のいろいろな場で説明があると思いますが、良い活用がで きるようにこれからよろしくお願いします。</p>
<p>高橋次長</p>	<p>ありがとうございました。今回は全小中学校分を掲載していま すが、各学校へは、各学校分しか出ません。</p>
<p>関教育長</p>	<p>この中には不登校の子どもの情報は入っているのですか。</p>
<p>高橋次長</p>	<p>教員が自宅まで行って回答してもらった子どももいますし、全く 参加できないという子どももいます。各学校で回答した子・回答し ていない子の把握はしています。</p>
<p>関教育長</p>	<p>分析結果について、例えば非常にマイナス的な傾向のものについ て個別対応に使える資料になると考えてよろしいのでしょうか。</p>
<p>高橋次長</p>	<p>はい。教職員の観察では大丈夫だと思っている子どもが思いのほ か不満足度が高く、要支援と分類されるケースもあります。アンケ ートを実施することは非常に重要な意味があります。 また、分類したときに一番右上の満足の頂点の子どもについては、 実は非常に危険なことがあるので、これをうのみにしないというこ とも大切です。そうじを真面目にする子というのが、教師の目から 見たら非常に真面目に映るのですが、友達との関わりが苦手だっ たりするということがありますので、教師はこのような資料と自分の 観察の両方の主観を使いながら、正しく子どもの理解を深めること</p>

	<p>が必要です。</p> <p>別紙資料の最終ページ「このような位置にプロットされた児童生徒はいませんか」という中に、右上のあまりにも高いところに分類される子は満足群ではありますが、あまりに高い得点に入ると、過剰に適応しているとかいい子を一生懸命務めているという子もいるかと思えます。期待に応えようと必死であるとか、評価に不安があるとか、本音を語っていないとか、質問紙の理解が難しいとかネグレクト（養育放棄）の可能性があるので、丁寧に分析しています。各学校研修会を開いて委員の皆さんからいただいたご意見を参考にして、丁寧に子どもに関わっていかなければいけません。</p>
宮内委員	<p>今後、ぜひ資料を生かして対応していただきたいと思えます。</p>
関教育長	<p>その他、何かご質問やご意見等はございませんか。</p>
伊藤委員	<p>別子中学校など少人数の場合にもこのようなテストは有効であると考えられるのですが、いかがでしょうか。</p>
高橋次長	<p>設問が全21項目あり、その設問の一つ一つにその子がどのような回答をしたのか、それをきっかけとして話す材料にもなりますし、統計として集団を見ると5人ですので一目でわかりますが、別子の場合は設問ごとにその子一人ひとりを見ていくという面では非常に有効な手段になると思えます。</p>
関教育長	<p>この件で、その他にご質問やご意見等はございませんか。 その他に、何かご連絡はございませんでしょうか。</p>
高橋次長	<p>8月10日に実践活動部会の中で実施したソーシャルスキル学習会についてご説明します。都留文科大学の品田笑子先生を講師にお招きして、社会的にどのような行動をとることが望ましく、またどのような場面で使ったらよいかについて、理論と実践を組み合わせた大変素晴らしい研修会でした。市内の小学校から47名、中学校24名、学習環境委員会11名の計82名が参加して熱心に研修を受講しました。ルールとリレイション、つまりは規律と人間関係というものを学級の中に作っていく上でこのソーシャルスキルのトレーニングが大切であるということです。</p>

	<p>3ページに、参加した先生方のアンケート結果が出ております。「学級経営のために役に立ちましたか」という質問に対しては、92%がとてもそう思うと回答があり、大変満足していただいています。また、「生徒児童のために、今後実践してみようと思いますか」という質問に対しては、94%がとてもそう思うということでした。また、具体的な感想はその下に記載していますが、そのやり方やしたことがあるという経験をまず身につけさせておかなければいけない、やってみなさいと放ったらかしにして身につくものではないので、きちんと段階を踏んでソーシャルスキルを指導していくことが大切という感想が出ました。以上です。</p>
<p>関教育長</p>	<p>その他に、何かご連絡はございませんでしょうか。</p>
<p>武方事務局長</p>	<p>愛媛新聞記事コピーを配付しています。市内の行事・活動をたくさん取り上げていただいていますので、ご覧ください。</p>
<p>関教育長</p>	<p>先程、ソーシャルスキルの研修会についての話がありましたが、業務改善について文科省から学校の中での業務改善の促進について、先生が本来の業務に対して費やせる時間増やしていこうという取組が示されています。それに伴って、業務改善アドバイザーの派遣を申請をして国から内示をいただきました。今後、鳴門教育大学の久我直人さんという方とつながりながら、数年間に渡って先生の負担が軽減し、生きがいを持って仕事出来るような環境に進めていきたいと思えます。内容はまたご報告いたします。</p> <p>それでは、次回の定例会の日程を決定させていただきたいと思えます。来月10月の第一木曜日は6日となりますが、いかがいたしましょうか。</p> <p>10月の定例会は、10月6日木曜日の15時より開催させていただきます。よろしくお願ひします。</p> <p>これで、平成28年第9回教育委員会定例会を閉会いたします。</p>

新居浜市教育委員会会議規則第13条の規定により署名する。

委員名

委員名